

平成21年度 第5回経営協議会議事要録

日時 平成22年 3月23日(火) 14:00～15:55
場所 事務局第1会議室
欠席者 鬼沢委員、上月委員、山本委員、田代委員(代理:尾崎評議員)
配付資料

- 平成21年度第4回経営協議会議事要録(案)
 1. 国立大学法人茨城大学組織規則の改正理由及び改正規則対照表
 2. 国立大学法人茨城大学における学生納付金その他の費用に関する規則の改正理由及び改正規則対照表
 3. 国立大学法人等における剰余金の翌事業年度への繰り越しに係る承認について
 4. 平成21年度茨城大学補正予算(第二次)について
 5. 平成21年度茨城大学補正予算(第三次)について
 6. 平成22年度収入予算・支出予算・支出予算(部局別・目的別)
 7. 国立大学法人茨城大学第2期中期計画期間財政運営計画について(案)
 8. 平成22年度国立大学法人茨城大学年度計画(案)
 9. 国立大学法人茨城大学中期計画(案)
- 10. 平成22年度茨城大学一般入試(前期日程)受験者数・欠席者数一覧
- 11. 平成21年度茨城大学資金管理計画について
- 12. 平成22年度茨城大学学年暦
- 13. 平成21年度臨時監査結果について
- 14. 平成21年度賃金改定に伴う退職金減額の補正措置について(案)
 - なりわい・づくり(学生就職支援センターニュース・レター)
 - 求人のための大学紹介
 - 平成21年度就職ガイダンス実施一覧

議 事 概 要

I 議事要録の確認

平成21年度第4回経営協議会議事要録について、原案のとおり確認された。

II 審議事項

1 国立大学法人茨城大学組織規則の一部改正について

学長から、組織規則を改正したいので審議願いたい旨提案があり、さらに、総務課長から、配付資料1に基づき改正内容について補足説明があり、審議の結果、提案のとおり改正することが了承された。

2 国立大学法人茨城大学における学生納付金その他の費用に関する規則の一部改正について

学長から、茨城大学における学生納付金その他の費用に関する規則を改正したいので審議願いたい旨提案があり、さらに、山本理事から、配付資料2に基づき改正内容について補足説明があり、審議の結果、提案のとおり改正することが了承された。

- 3 平成20事業年度における剰余金の繰越承認について
学長から、文部科学大臣から承認を受けた平成20事業年度における剰余金について目的積立金としたいので審議願いたい旨提案があり、さらに、山本理事から、配付資料3に基づき内容について補足説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。
- 4 平成21年度茨城大学第二次補正予算について
学長から、平成21年度茨城大学第二次補正予算について審議願いたい旨提案があり、さらに、山本理事から、配付資料4に基づき内容について補足説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。
- 5 平成21年度茨城大学第三次補正予算について
学長から、平成21年度茨城大学第三次補正予算について審議願いたい旨提案があり、さらに、山本理事から、配付資料5に基づき内容について補足説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。
- 6 平成22年度茨城大学予算について
学長から、平成22年度茨城大学予算について審議願いたい旨提案があり、さらに、山本理事から、配付資料6に基づき内容について補足説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。
- 7 国立大学法人茨城大学第2期中期計画期間財政運営計画について
学長から、茨城大学第2期中期計画期間財政運営計画について審議願いたい旨提案があり、さらに、山本理事から、配付資料7に基づき内容について補足説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。
- 8 平成22年度国立大学法人茨城大学年度計画について
学長から、平成22年度茨城大学年度計画について審議願いたい旨提案があり、さらに、田切副学長から、配付資料8に基づき内容について補足説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。
また、文部科学大臣に提出までに文言等の修正が必要となった場合には、学長に一任することとした。
- 9 中期計画に記載することが必要な事項について
学長から、中期計画に記載することが必要な事項について審議願いたい旨提案があり、さらに、田切副学長及び財務部長から、配付資料9に基づき内容について補足説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。
- 10 役員の退職金について
学長から、平成22年3月31日付けで定年退職予定の田切美智雄前理事の退職金について、経営協議会の議を経て支給することとしたいので審議願いたい旨提案があり、審議の結果、業績勘案率を1.0とし増減は行わないで基本額どおり支給することが承認された。
- 11 平成21年度賃金改定に伴う退職金減額の補正措置について
学長から、平成21年度賃金改定に伴う退職金減額の補正措置について審議

願いたい旨提案及び説明があり、審議の結果、提案のとおり措置することが了承された。

Ⅲ 討議事項

1 茨城大学新卒学生の就職活動の現状について

学長から、茨城大学新卒学生の就職活動の現状について、委員の意見を伺いたい旨提案があり、さらに、学生就職支援センター長から、パワーポイント資料に基づき内容について補足説明があり、意見交換が行われた。

委員から出された主な意見は次のとおり。

- 就職の面で同窓会連合会に何とか支援をお願いできないかと感じている。茨城大学の卒業生は全学で約7万人、この同窓生を就職の面で活用できないものか。就職試験に合格したとか内定をもらったとか、学生の就職状況の情報がまず大学で把握できないということなので、就職支援の一番土台になるその辺の情報を得る手だてが無いと、学生に届出させるとか、その辺の改善も必要になってくるのではないか。
もう一つは、人文学部で実施したキャリア教育「働く意義に学ぶ意義」について、効果があったのかなかったのか、もしあったということであれば、一つの学部だけではなく他の学部へも広げて、模擬テストの演習など積極的にやらないと、就職の超氷河期は超えられないと思う。
- 就職留年というか、全部単位を取っても就職が決まらない場合に、留年をして授業料などを減免するというような大学が今増えてきている。これについて茨城大学としてはどのように対応しているのか聴きたい。
併せて、もしそういう制度を設けるのであれば、キャリア教育の一環だと思いが今NPO法人が多数できていて非常に地域貢献を行っているようで、アルバイトをせざるを得ない学生さんにもNPO法人で勉強をして、社会体験をして、次の就職活動にそれがプラスになる、そんな良い体験があるというような仕組みというのが、日本にこれから定着させるべきだと思っているが、そういう動きを何か考えるといいのかなと思っている。
- 結局、企業側の受け入れ体制にも関係すると思うが、企業側はやはり認識をきちんと改めて、卒業した、しないという区別をするのではなくて、人間本意で人間を見てこの人間だったら新卒でなくても新規採用とするよ、というそういう社会風潮がきちんとできれば、そんな無駄な心配をする必要はないのではないかなと思っている。
NPO法人については、雇用人材協会とかそういう事ではなくて、幅広い社会体験、それを支えるNPO法人が多数あるわけで、その中で学生がもまれる、それは良い体験になると思うし、アメリカなどでは大学を卒業してNPO法人で1～2年いろんな社会体験をして、それから就職を決めるというようなケースが結構多いと聞いている。それはいい傾向があるのではないかなと思っているので、そういう方向で是非検討いただきたい。
- 数年前までは労働人口が減る、足りなくなるという認識をしていたのが日本国内の情勢で、ここへきてリーマンショック以降で景気が少しずつ落ちてきて、それで企業も採用数を落としている。ここ1～2年の新卒者の採用は方

向的には日本の雇用形態の在り方、きちんとした専門性を、意欲を、IQ・EQと言われている部分もあるが、働き力というかそういう意欲を持っているかが重要で、昨今は新卒だけではなくて経験者も採用するという募集人枠があって、第二新卒とでも言うか、他の仕事を経験して転職して色々経験を積んだ上でまた別の試験にチャレンジしていくということがあっていい。あまりやりすぎはよくないと思うが。

- 今非常に問題だと思うのは日本の創造力というか、ハングリーさがなくなってきたということ。中国とか韓国の学生さんとか、なんでもやるそういう知識者が多くなってきて、そういう点で比較すると、日本人はだんだん落ちてきているということが危惧されている。
- 学長から離職率の問題が出たが、それは第二志望とか第三志望だから離職率が高いという問題ではなくて、第一志望でも辞めてしまう人間が増えている。たぶん日本人全体として堪え性がないというか、粘りがなくなってきたり、あるいは意欲がなくなってきたり、日本の悪い風潮みたいなものを学生が身につけてしまっている、そういう部分があるのだと思う。就職をしたときに、そこで頑張って人間関係を克服して、自分のやりたいものを見つけていくんだという粘り強さを、日本の教育の中で少し育てていく、そのような教育をしていけたらと思う。

III 報告事項

1 平成22年度入学試験実施状況について

学長から、平成22年度入学試験実施状況について、配付資料10に基づき報告があった。

2 平成21年度茨城大学資金管理計画（2月分）について

学長から、平成21年度資金管理計画（2月分）について、配付資料11に基づき報告があった。

3 平成22年度茨城大学学年暦について

学長から、平成22年度茨城大学学年暦について、配付資料12に基づき報告があった。

4 平成21年度監事臨時監査結果について

学長から、平成21年度監事臨時監査結果について、配付資料13に基づき報告があった。

5 その他

学長から、経営協議会会議資料の公開について、確認があった。

- 次回経営協議会開催日 6月上旬 14時00分から